

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

企業の概要

企業・団体名	ネットリンクス株式会社	本社所在地	岡山県
業種	学術研究・専門・技術サービス業	総従業員数	16名
事業概要	ITコンサルティング／パッケージソフトの販売・保守／コンピュータネットワークの構築／ソフトウェアの企画・開発並びに販売／WEBサイト作成 経理・会計コンサルティング／経理・会計アウトソーシング		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク勤務規定
テレワーク担当部署	総務
テレワーク対象者	全従業員/全職種(社長含む)
実施者数	17名
平均実施日数	月12回以上20回未満程度(概ね週3~4回)

テレワークの導入・拡大の経緯

2016年冬に従業員の出産・県外への引っ越しを機に、ライフステージが変化しても変わらず働き続けられる会社を目指して在宅勤務の実施を開始しました。ワーキングマザーを中心に実施人数を増やしていき、遠方からの通勤者や在宅で業務が完結する従業員へと実施対象を広げていき、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を機に全従業員テレワークを実現しました。現在は業務上で出社する必要がない場合は基本テレワークという勤務体制になっています。

テレワークの概要・特徴

・テレワーク制度の概要・特徴
雇用形態、職種などの区別なく、全員がテレワーク対象です。
テレワーク実施日数の上限、下限もなく、自由にテレワークを選択できる自由な勤務体制です。

・テレワークの活用拡大や定着、効果的な運用のために工夫した点
テレワークに必要な機器の貸し出し、テレワークが難しい業務をテレワーク可能にするためのツール導入などで業務上の「できない」をつぶしていきました。
また、ビデオ会議を使った毎日の朝礼・終礼、サテライトオフィスと本社を映像で繋ぐライブカメラ、コミュニケーションツールの導入と新しいコミュニケーション方法の浸透によって、孤独感などの精神面の問題を解決しました。

・テレワークでの長時間労働を防ぐための具体的な取組
ビデオ会議による終礼で、口頭での残業申請と、チャットを使用した作業日報報告。

・その他、今後テレワークを導入する団体の参考になる知見 等
テレワークをするのに不自由な点を解決すると、テレワークに限らず業務効率そのものが向上します。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

・テレワークを導入したことによる経営にもたらした効果
総労働時間:
全従業員テレワーク実施体制になってから前年同月比で月間約160時間減少。

通勤時間の短縮:
全従業員テレワーク実施体制になってから前年同月比で18時間/15人(1日あたり)。

新卒応募数: 2019年卒41人→2021年卒59人

・テレワーク導入にあたり、ICTの利活用、地方への移住や地方活性化等の取組や成果
クラウドストレージ、ビデオ会議、チャットツール、webデータベース等の様々なクラウドサービスやRPAの導入と活用が進みました。
居住地が地方であることのデメリットが無いと、2019年からとっている新入社員のうち3/4は地方在住の優秀な学生を採用しています。

・その他テレワークの導入によって創出された社会的効果の事例
打ち合わせにビデオ会議や遠隔操作ツールを使用することで、関連会社様もICTが身近に感じられるようになり、デジタルシフトが進みました。